

第 8 回 『京大知球会関東支部 総会・懇親会・講演会』を開催しました。

2021 年 11 月 20 日(土) 、昨年度に続き ZOOM によるオンライン開催としました。

★関東支部総会

司会進行は、谷幹事(学部 1976 年卒)が担当し、吉川賢一・京大知球会関東支部代表(学部 1972 年卒)による開会挨拶の後、今脇資郎・京大知球会会長から、来賓挨拶を頂きました。

ZOOM 方式による運営以降関東支部の収支に変化がないため、関東支部規約・会計報告を簡単に行い、承認されました。関東支部役員は、全員の留任を提案し、承認されました。

★講演会

講師として竹村 惠二氏(現:別府温泉地球博物館副理事長)(1976 年卒)(元:京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設(別府)・施設長)をお招きし、「地球科学と地域の接点の多様性と重要性:自然災害と環境問題-災害対応・ジオパークからの情報発信・次世代研究者へのメッセージ-」と題するご講演をいただきました。参加者から活発な質疑応答があり、大変な盛況を博しました。

講演者・竹村氏から、プレゼン資料をご提供頂きました。別添、pdf を参照ください。

★新しい試みとして「海外で活躍する会員紹介」として、スウェーデン・キルナ在住の山内 正敏氏(1983 年卒)に、現地の情景と研究の一端を紹介してもらいました。資料を提供いただきましたので、以下を参照ください。

www.irf.se/~yamau/conference/2021/20211120_kiruna_intro.pdf

★記念撮影その他

今回の参加登録者は 50 名。世の中の接続・会議環境がオンラインでの機会が増えていることも反映して、昨年より 34 名から増えています。時差を調整してスウェーデンからも参加していただきました。

最後に、参加者全員でスクリーンショットによる記念撮影を行いました。

<https://photos.app.goo.gl/gPaKRne8LazSm85A8>

★懇親会

ZOOM のブレイクアウトセッション機能を活かし、出身講座別(人数調整の関係上、講座を集約したケースも)および年代別の 2 部制で分科会的に懇談の場を設けることにより、話題が盛り上がる場面も多く、三々五々自由な解散方式としました。

以上